

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7927 URL https://www.muto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 肇
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,426	△9.6	927	1.7	999	△11.6	498	△22.2
2019年3月期第3四半期	18,175	△8.6	912	△20.8	1,130	0.3	640	△28.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 310百万円(△50.4%) 2019年3月期第3四半期 625百万円(△51.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	69.34	—
2019年3月期第3四半期	89.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	22,141	12,087	51.5
2019年3月期	22,962	11,891	48.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 11,396百万円 2019年3月期 11,203百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2020年3月期	—	8.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	△6.0	900	△6.6	900	△21.3	550	—	76.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	7,739,548株	2019年3月期	7,739,548株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	552,784株	2019年3月期	552,784株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	7,186,764株	2019年3月期3Q	7,186,764株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善、東京オリンピック関連の需要などを背景に回復傾向にあります。他方、金融市場は終盤で株高・円安基調となったものの、米中を中心とした世界情勢に左右される不安定な動向が続きました。

世界経済におきましては、米中貿易摩擦の長期化などに伴い後退感が強まっておりますが、好調な米国経済や米中通商交渉の進展を背景に、回復基調が見られました。しかしながら、米国の対外政策や地政学的リスク、中東情勢等による景気悪化の懸念があり、先行き不透明な状況が続いております。また、中国で発生した新型コロナウイルスの感染が世界中に拡大しておりますが、世界経済への影響も現時点では不透明であります。

当社を取り巻く業界において、自動車関連では、全般的に新車の販売動向は減少傾向にあります。当社グループが製品を納品している主要車種は順調に推移いたしました。家電分野では、東南アジア方面における需要が堅調な一方で、国内販売は低調が続いております。医療機器関連では、高齢化社会や健康志向の増加に伴う医療ニーズを背景に、全世界的に市場は拡大を続けており、需要も増加傾向にあります。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては、付加価値の高い製品の受注と省力化に向けた生産体制の強化を図ってまいりましたが、外部環境の悪化等による取引先からの受注減に伴い売上高は減少いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は164億2千6百万円と前年同四半期と比べ17億4千9百万円(9.6%)の減収、営業利益は固定費の削減などにより9億2千7百万円と前年同四半期と比べ1千5百万円(1.7%)の増益、経常利益は為替差損の計上などにより9億9千9百万円と前年同四半期と比べ1億3千1百万円(11.6%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税の増加などにより4億9千8百万円と前年同四半期と比べ1億4千2百万円(22.2%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、受注が減少傾向にある電子ペン部品の売上高は減少いたしました。自動車関連部品の売上高は堅調に推移しております。また、外販を強化し収益率の拡大に注力した金型の売上高も好調を維持しております。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて152億4千1百万円と前年同四半期と比べ12億9千7百万円(7.8%)の減収となりました。セグメント利益(営業利益)は9億9千4百万円と前年同四半期と比べ1億1千万円(12.5%)の増益となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、医療機器向け部品の売上高は堅調に推移しましたが、市場の縮小が続くデジタルカメラ関連部品の売上高は減少傾向にあります。一方、自動車向け電装品関係部品では、来期に向けた新規受注に注力しております。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて10億2千1百万円と前年同四半期と比べ4億2千4百万円(29.4%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は8千8百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)1千3百万円)となりました。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門では、複写機関係が好調でしたが、パッケージ基板の設計業務が不調で、売上高は減少に転じました。検査部門では、セラミック基板の売上高が大幅に伸びたものの、基板材料メーカーの台風被害による材料不足のため、民生品等の一般基板の受注が大きく減少し、減収となりました。MID関連の売上高につきましては、3DMIDのCADの販売が好調で、増収となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて2億2千4百万円と前年同四半期と比べ2千6百万円(10.7%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は2千2百万円と前年同四半期と比べ1千9百万円(46.4%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6億7千5百万円減少し、142億1千8百万円となりました。現金及び預金が10億4千万円、受取手形及び売掛金が2億5百万円それぞれ減少し、有価証券が7億2千3百万円増加したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億4千5百万円減少し、79億2千2百万円となりました。有形固定資産が1億9千7百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ8億2千1百万円減少し、221億4千1百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ9億2千1百万円減少し、66億4千万円となりました。短期借入金が4億5千万円、その他(流動負債)が3億4百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ9千4百万円減少し、34億1千3百万円となりました。長期借入金が1億2千8百万円減少し、繰延税金負債が1千9百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ10億1千6百万円減少し、100億5千4百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億9千5百万円増加し、120億8千7百万円となりました。利益剰余金が3億8千3百万円増加し、為替換算調整勘定が2億円減少したことなどが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想及び配当予想(期末)につきましては、2019年11月8日に公表いたしました「2020年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありません。

なお、現在、中国で発生した新型コロナウイルスの感染が世界中に拡大しております。今後の世界経済への影響が懸念されておりますが、現時点では不透明であります。実際の業績は、こうした今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,968,318	5,927,567
受取手形及び売掛金	3,788,253	3,583,086
電子記録債権	629,950	625,269
有価証券	—	723,483
商品及び製品	722,337	749,719
仕掛品	966,841	925,117
原材料及び貯蔵品	1,306,921	1,231,692
未収入金	187,321	181,490
その他	325,890	272,684
貸倒引当金	△1,450	△1,360
流動資産合計	14,894,385	14,218,752
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,136,169	2,369,284
機械装置及び運搬具（純額）	3,193,247	2,967,949
土地	1,154,541	1,169,799
リース資産（純額）	—	2,633
建設仮勘定	530,876	160,928
その他（純額）	386,781	533,967
有形固定資産合計	7,401,617	7,204,563
無形固定資産		
212,478	212,478	251,044
投資その他の資産		
投資有価証券	191,381	176,956
退職給付に係る資産	125,600	124,931
繰延税金資産	4,452	4,804
その他	135,900	163,415
貸倒引当金	△2,885	△2,885
投資その他の資産合計	454,450	467,222
固定資産合計	8,068,545	7,922,830
資産合計	22,962,931	22,141,582

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,165,642	2,050,878
短期借入金	2,800,000	2,350,000
1年内返済予定の長期借入金	1,252,396	1,307,396
未払法人税等	103,356	108,575
賞与引当金	215,254	102,156
その他	1,026,004	721,799
流動負債合計	7,562,652	6,640,805
固定負債		
長期借入金	2,850,502	2,722,275
繰延税金負債	263,670	283,164
役員退職慰労引当金	144,918	154,842
退職給付に係る負債	229,640	239,132
その他	19,593	14,195
固定負債合計	3,508,324	3,413,610
負債合計	11,070,977	10,054,415
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,168	2,246,168
利益剰余金	7,899,921	8,283,253
自己株式	△397,883	△397,883
株主資本合計	11,937,166	12,320,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,636	△2,955
為替換算調整勘定	△720,100	△920,984
その他の包括利益累計額合計	△733,737	△923,939
非支配株主持分	688,524	690,607
純資産合計	11,891,953	12,087,166
負債純資産合計	22,962,931	22,141,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	18,175,285	16,426,230
売上原価	15,049,294	13,355,475
売上総利益	3,125,991	3,070,755
販売費及び一般管理費	2,213,906	2,143,016
営業利益	912,084	927,739
営業外収益		
受取利息	57,060	72,650
受取配当金	5,285	5,468
為替差益	173,372	—
その他	9,470	21,747
営業外収益合計	245,188	99,867
営業外費用		
支払利息	26,002	24,125
為替差損	—	3,894
その他	364	—
営業外費用合計	26,367	28,019
経常利益	1,130,905	999,587
特別利益		
固定資産売却益	4,705	2,183
特別利益合計	4,705	2,183
特別損失		
固定資産除却損	23,713	948
減損損失	—	17,006
和解金	—	15,836
特別損失合計	23,713	33,790
税金等調整前四半期純利益	1,111,897	967,980
法人税等	323,460	258,883
過年度法人税等	72,613	173,499
四半期純利益	715,823	535,597
非支配株主に帰属する四半期純利益	74,997	37,276
親会社株主に帰属する四半期純利益	640,826	498,320

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	715,823	535,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,024	10,681
為替換算調整勘定	△51,859	△236,077
その他の包括利益合計	△89,884	△225,395
四半期包括利益	625,939	310,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	583,091	308,118
非支配株主に係る四半期包括利益	42,848	2,082

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,520,610	1,403,228	251,445	18,175,285	—	18,175,285
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,180	42,584	—	61,765	△61,765	—
計	16,539,791	1,445,813	251,445	18,237,051	△61,765	18,175,285
セグメント利益又は損失(△)	884,078	△13,827	41,834	912,084	—	912,084

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,222,895	980,398	222,937	16,426,230	—	16,426,230
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,985	40,886	1,560	61,431	△61,431	—
計	15,241,880	1,021,285	224,497	16,487,662	△61,431	16,426,230
セグメント利益又は損失(△)	994,202	△88,888	22,424	927,739	—	927,739

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。